

「介護に関するアンケート」結果報告

平成22年6月28日配布
平成22年7月9日回収締切

旭川医科大学 二輪草センター
(復職・子育て・介護支援センター)

アンケートの趣旨

- ・介護支援について取り組むにあたり、全職員・学生の介護状況や介護に対する意識、どのような支援が必要とされているのか等の現状把握を行う。また、その結果を基に今後の介護支援活動を検討していくものである。

対象・・・全職員・学生

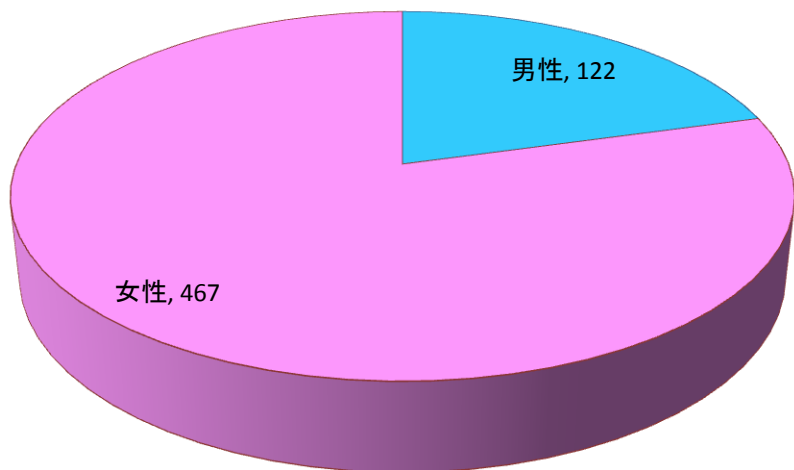
配布方法・・・紙媒体で各部署に配布・HPからのダウンロード

回収方法・・・センターへ持参。メール添付

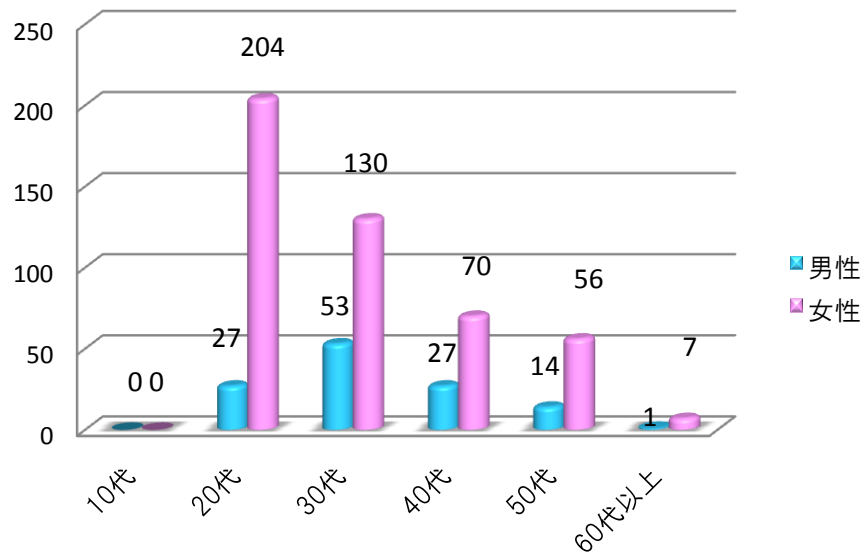
配布枚数・・・930部

回収枚数・・・589部

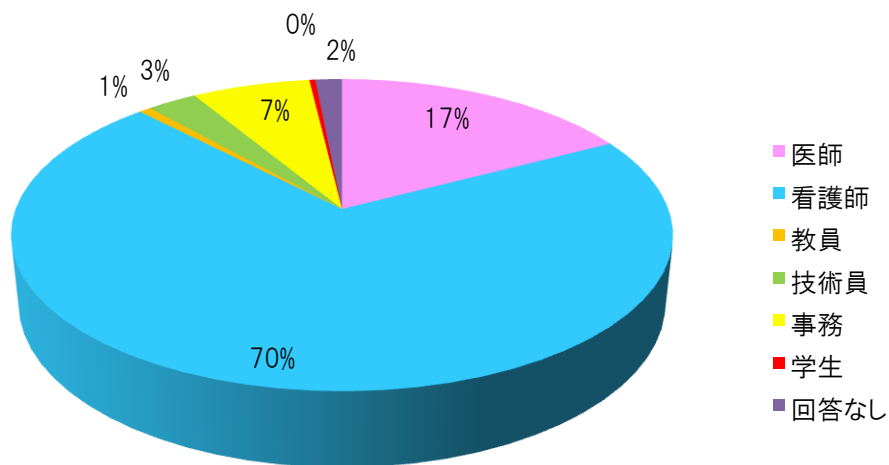
問1 性別をお答えください (回答者合計589名)



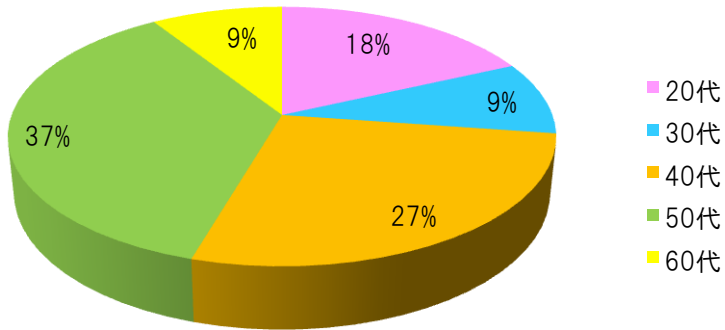
問2 年齢をお答えください



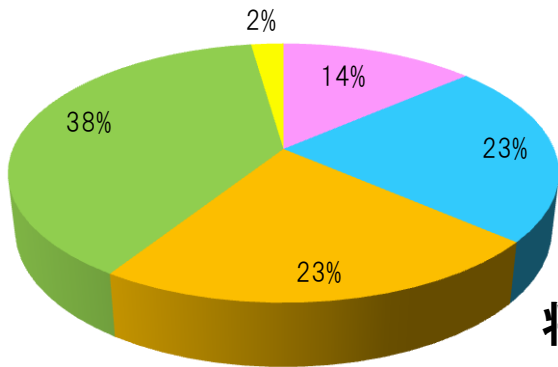
問3 職種をお答えください



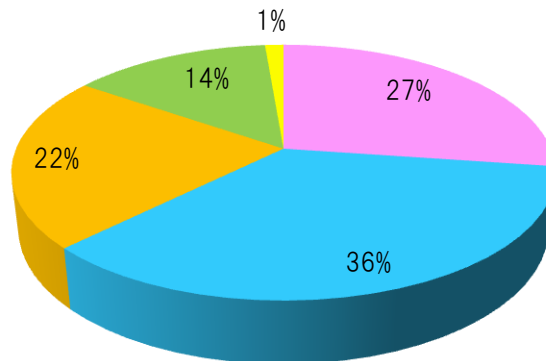
現在介護中である



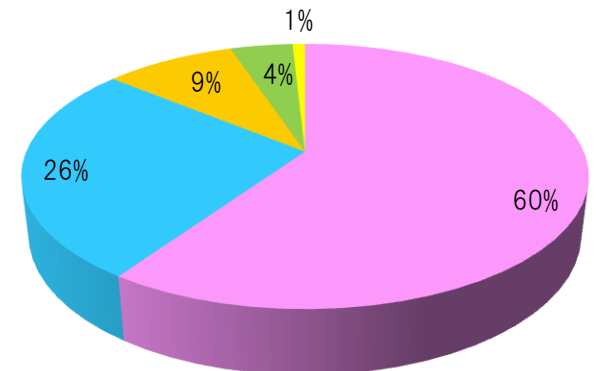
過去に経験がある



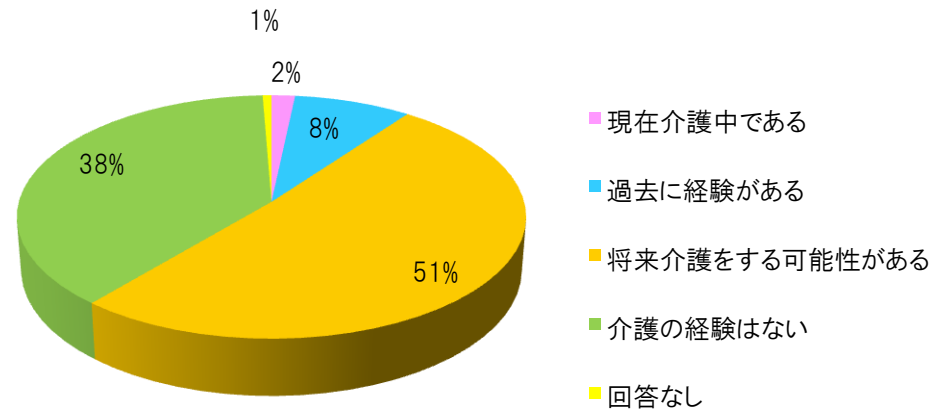
将来介護をする可能性がある



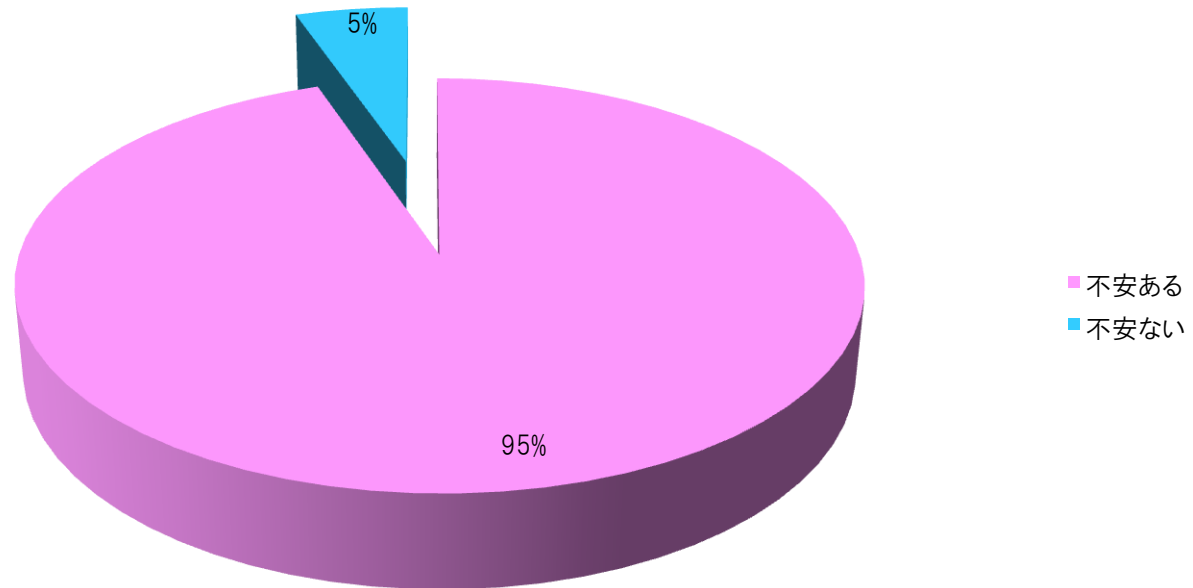
介護の経験はない



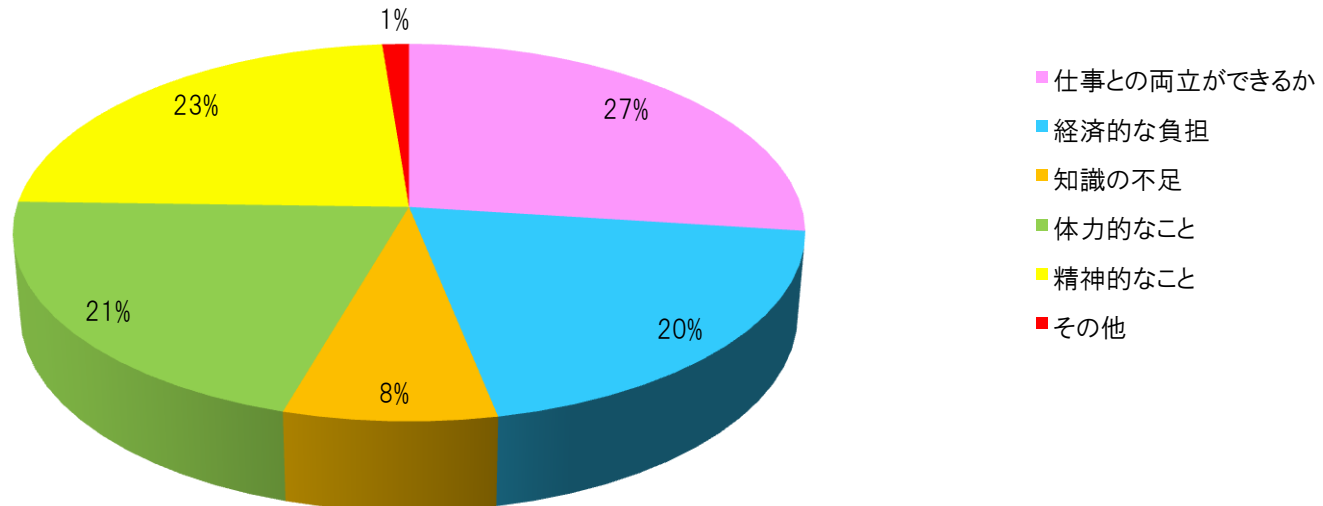
問4 介護の経験はありますか



**問5 将来介護をする可能性があるとお答えた方にお聞きします。
介護に対して不安はありますか**



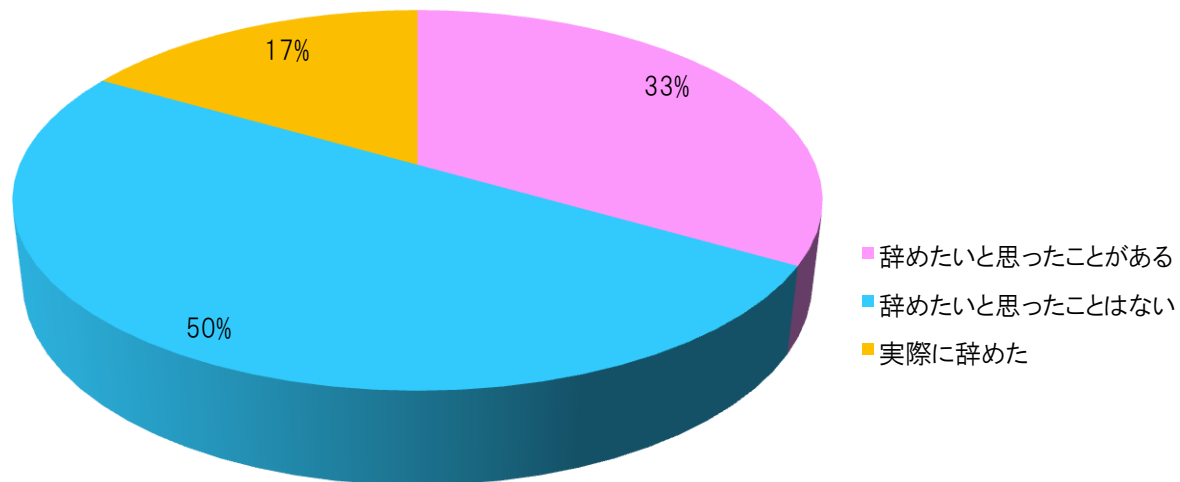
問6 介護に対して不安があると答えた方にお聞きします。
どのような事に不安を感じますか？



その他の項目

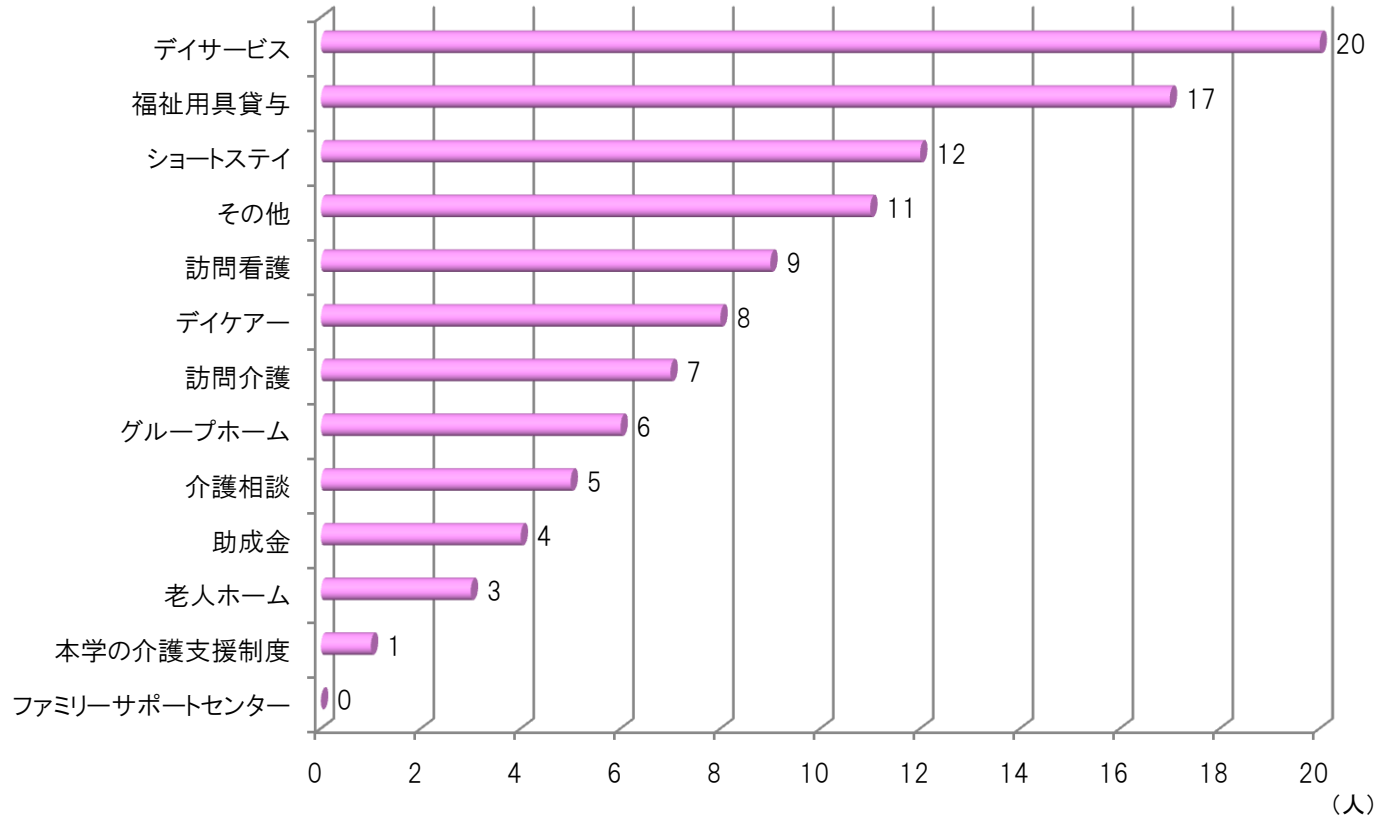
- ・転居しなければならない。
- ・他の家族の精神的フォロー
- ・自分の時間が無くなること。
- ・長女なので介護が義務なのではないかという重荷。
- ・遠く離れて暮らしているので、どうしたら良いか。
- ・ほかの家族の協力が得られない。
- ・両親が遠方のため、自分の生活(家庭と仕事)とどう両立するか。
- ・介護保険など事務的なこと。どのように援助が受けられるのか、その時々行政によって変わるので理解することが難しいと感じる。
- ・家族内対立、意見の違い。
- ・制度が実際に即していないため、支援は断片化していると思われる。
- ・個人では限界があるため、公的支援必要。

問7 現在または過去に介護の経験があると答えた方にお聞します。
介護を理由に学業や仕事を辞めたいと思ったことはありますか？



問8 現在または過去に介護の経験があると答えた方にお聞きします。

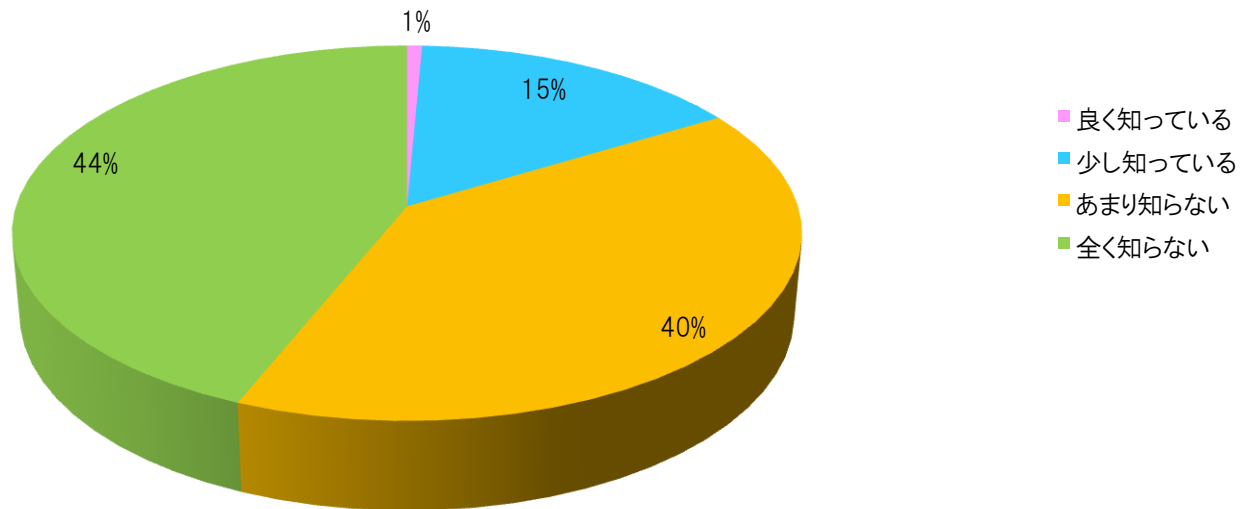
その時どのような支援を受けましたか？



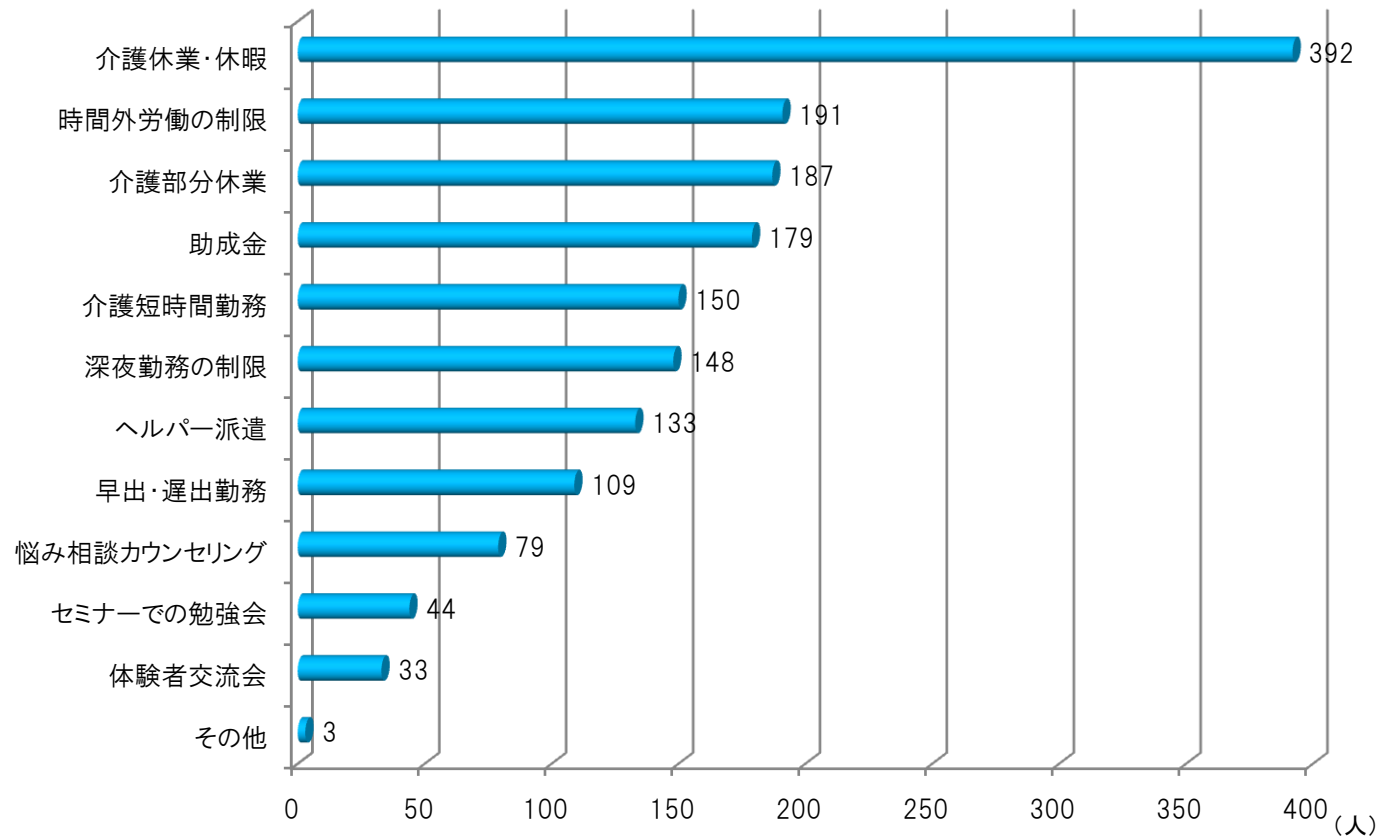
その他の項目

- ・病院
- ・ヘルパー
- ・預けていない
- ・車いす、吸引器借用サービス
- ・介護休業を取得後、雇用保険より介護休業給付を受けた。
- ・居宅介護住宅改修費支給
- ・療養型の病院(自宅近くを選び毎日様子を見に行っていました。)

問9 本学の介護支援制度をご存知ですか？



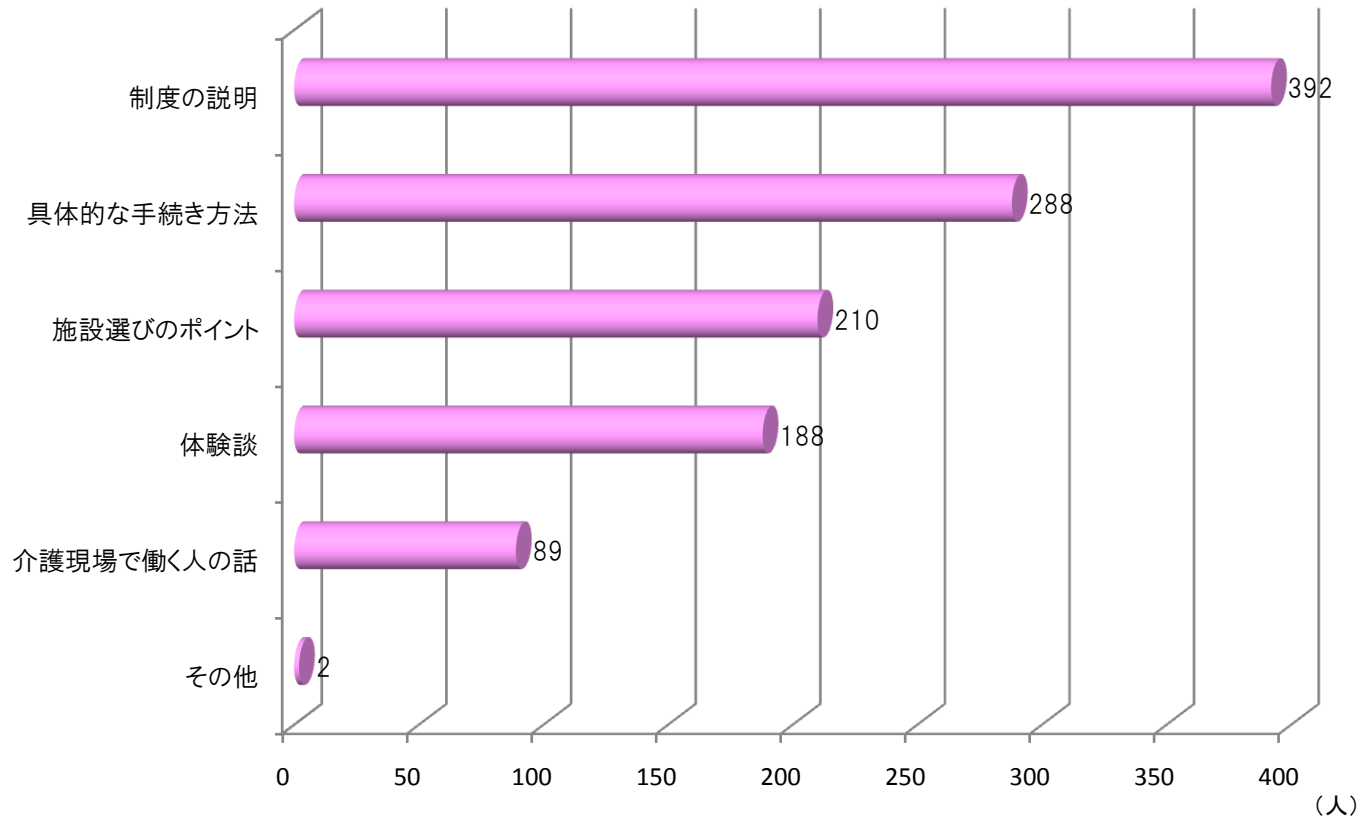
問10将来利用したいと考える介護支援についてお答えください。



その他の項目

- ・現段階で知識が全くないので分かりませんが、利用できるものはすべて利用したい。
- ・フレックス制

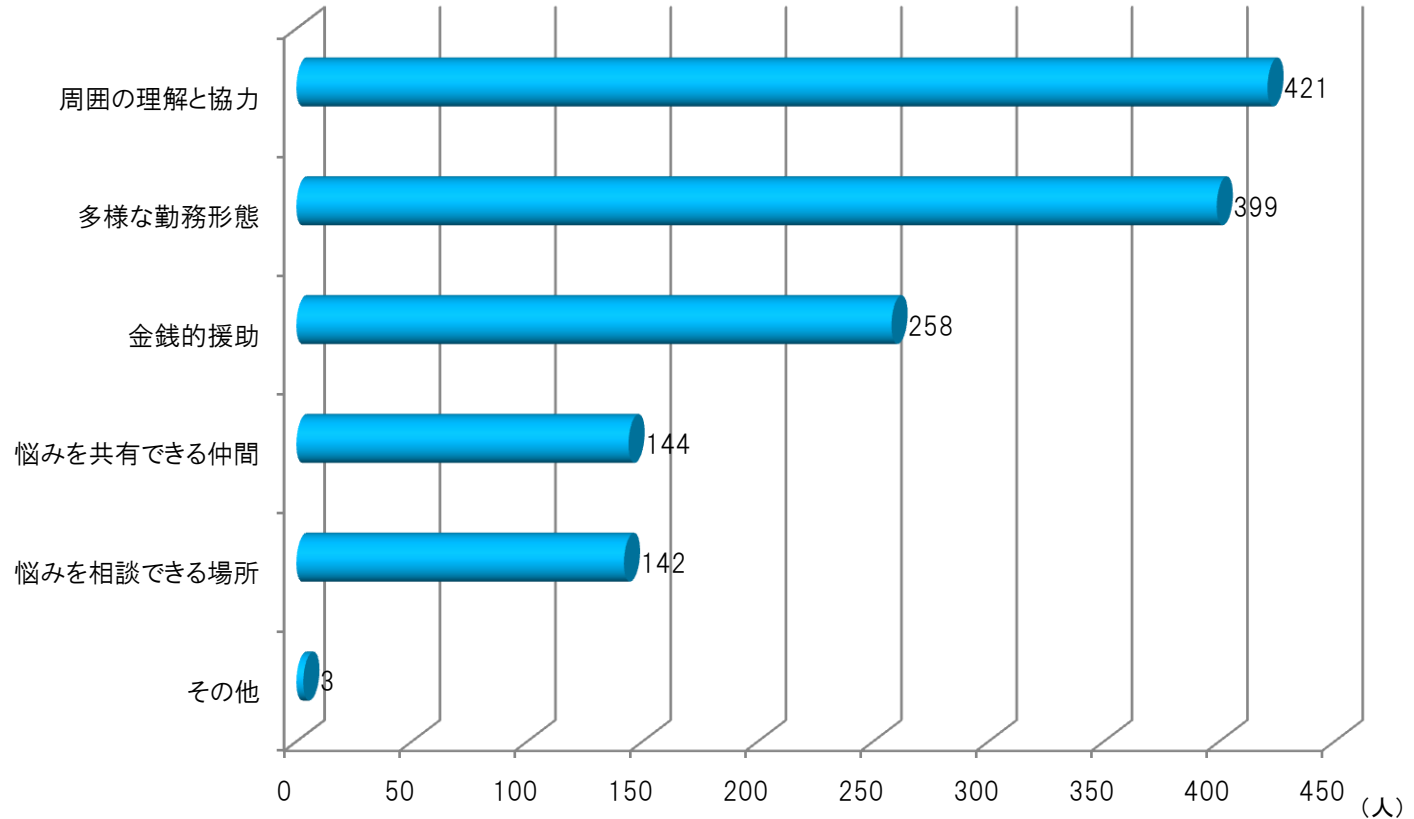
問11 介護をテーマに二輪草セミナーを行う場合、 どのような内容が良いとお考えですか？



その他の項目

- ・費用について
- ・介護休暇の設置にむけて

問12仕事と介護の両立をするために何が必要だと思いますか？



その他の項目

- ・上司はもちろん、スタッフの理解。
- ・介護を受けるものが体調不良の時休める体制(バックアップナース)
- ・現在の職場では気楽に休めるとは思えないので、安心して休める保障が欲しい。

問13 二輪草センターの活動についてご意見、ご要望がありましたら お書きください。

- ・もっと前面に出てきて活動をアピールして欲しい。病棟ではアピールされているのかも知れませんが、OP室は二輪草がうまく活用されていないような気がします。
- ・介護の休暇や休業を取りやすくするように制度を変える取り組み。
- ・もっと活動の紹介が必要と思います。
- ・介護に関連して休まなければならない場合にも、バックアップナースが来てもらえるようになると良い。
- ・小学生の親に対する部分休業など、勤務形態の選択肢を増やして欲しい。
- ・二交代三交代の勤務をしている私達には、あまり利用できないものばかりです。もっと現場にあった支援をして下さい。
- ・疲れない介護、らくらく介護のレクチャーなどお願いします。
- ・掛け声で終わらせたくないという意味と信念と地道な活動をとても評価しています。学長、病院長、副病院長の本学トップリーダーが把握して頂き、何より専任の担当がいることは安心につながっていると思います。
- ・活動を有効活用させて頂いています。情報を得る場となり、サポートシステムになっていると思います。
- ・育児だけでなく今後介護問題により仕事の制限が課せられる時代になってくると思う。育児休暇同様の介護に関する周囲の理解、協力体制が院内で行われる必要があると思う。